

# カットバー島における観光開発の潜在的可能性について

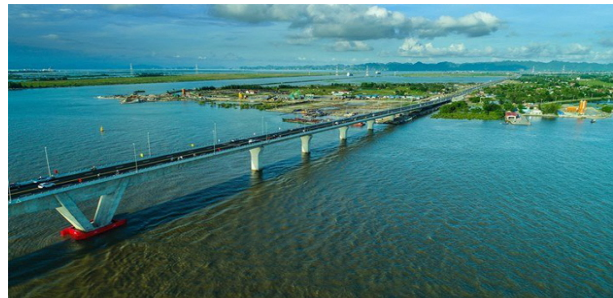
岡山県ベトナムビジネスサポートデスク(I-GLOCAL Hanoi Tran Thi Thu Uyen)

## 1 はじめに

ベトナム北部のハイフォン市は、貿易の中心地であり観光地の1つでもある。近年のベトナムの観光発展を語るうえで、ハイフォン市のカットバー島をはじめとした北部湾岸部の発展を無視することはできない。カットバー島は、ベトナム北部の真珠と呼ばれているドーソン-カットバー-ハロンの湾岸エコツーリズムを形成しており、森林、海、川、泉、山、丘、溪谷、砂嘴、岩などから壮大な景観が作り出されている。しかし、訪問者が何日間も滞在するだけの観光インフラがないため、カットバー島の観光施設やインフラ開発は十分とはいえない。本稿では、カットバー島の観光開発の魅力を述べたい。

## 2 便利な交通インフラ

交通インフラの発展により、カットバー島のアクセスは劇的に向上している。2015年から正式に開通したハノイ市とハイフォン市を結ぶ高速道路により、同市間の移動時間はわずか2時間に短縮された。また、2017年には、カットバー島へと向かう道中に、東南アジアで最長となる海上道路のタンブ-ラクフエン橋が開通され非常に便利になった。



タンブ-ラクフエン橋

## 3 天然資源が豊富

大小367の島から成る自然がカットバー島の最大の特徴である。カットバー島の石灰岩から成る岩山には、エコツーリズム開発が推進されている原生林がある。島の南東にはランハー湾があり、南西にはカットラー湾がある。また綺麗な砂嘴が形成されており、波も穏やかであるため、海水浴やリゾートにも適している。特に、カットコビーチは、湾を取り囲む石灰岩の山々の裏側に位置している。完璧な曲線を描くビーチは、静かでリラックスした空間を作り出



カットコビーチ

している。カットバー島は森林資源も豊富だ。カットバー国立公園は、9,000ヘクタールの森林、5,400ヘクタールの海を含む15,200ヘクタールの面積を誇る。カットバー島は、生物多様性と生態系の優れた価値が認められ、2004年にユネスコの生物保護区として登録された。海と森林の両方を有することは、カットバー島が他の観光地と差別化できる魅力的な点であり、国内外の観光客を惹きつけている。そのため、カットバー島は、リゾート、エコロジー、不動産、インフラ等の様々なプロジェクトに投資する企業を誘致する潜在力がある。

#### 4 カットバー島での観光実情

2015年から2020年までの期間で、観光客の誘致に関する決議が同地域でなされてから3年余りが経過した。ベトナム観光総局の報告によると、2017年のカットバー島への訪問者数は216万人に上り、そのうち48万人が国外からの訪問者だった。2018年には260万人もの観光客を迎え入れ、そのうち国外からの訪問者は60万人と増加した。観光客数の増加は順調である一方で、高級宿泊施設数の不足が深刻な問題となっている。ベトナム観光総局の統計によると、カットバー島の主な宿泊施設は、基本的には格安ホテルから3つ星ホテルが中心で、唯一の5つ星リゾートホテルはカットバーフラミンゴリゾートである。宿泊施設の客室は合計3,888室と7,476台のベッドを備えている。しかし、カットバー島への訪問者数が急増しているため、部屋数が需要に追いついていない。現在、同地域では、国家以外の投資家等による47のプロジェクトが実施されているが、プロジェクトの大部分は不動産投資等ではなく中規模以下のプロジェクトが多く、観光インフラの十分な発展には繋がっていない。これは、カットバー島の認知度が未だに低く、観光も一部の観光客に限定されていることや、国際会議やセミナー開催といった国際的に注目を集められる機会を逃したことも背景にある。

#### 5 結論

現在、都市化の流れの中で、観光客の「グリーンツーリズム」に対する需要が増加している。カットバー島はここ数年で大きな変化を遂げ、ベトナムにおける主要な観光地となり、国内外の観光客には魅力的な場所といえる。最大の強みは、多くの自然に恵まれていることであり、ハノイ市からアクセスしやすい交通インフラは、観光業の発展だけでなく、投資家の誘致にも多くの潜在的な可能性を秘めている。同地域は、多様で豊かな観光資源のさらなる開発と、最高品質のサービスを提供するため、国内外の企業から投資の誘致を目指しており、近い将来、カットバー島はベトナム北部地域における魅力的な観光地および投資先の1つになると予測される。

#### 参考文献

1. 2019年2月14日; 記事名: カットバ群島  
([https://vi.wikipedia.org/wiki/Quan\\_dao\\_cat\\_ba](https://vi.wikipedia.org/wiki/Quan_dao_cat_ba))
2. 筆者名: Hoang Tan、2018年1月28日、カットバ島は質の高い観光の発展を目指している  
(<http://haiphong.gov.vn/p-UBNDTP/d-9545/119942/cat-ba-huong-den-phet-trien-du-lich-chat-luong-cao>)

3.筆者名: Thanh Nghia、2018年12月14日、カッタバ島観光地やリゾートは大きく変化している

(<http://vneconomy.vn/dao-ngoc-cat-ba-noi-du-lich-nghi-duong-dang-chuyen-minh-manh-me>)

4. 筆者名 : Viet Bach、2019年1月23日、ハイフォン省の観光開発

(<http://www.tapchiconsan.org.vn/Home/kinh-te/2019/53938/De-du-lich-Hai-Phong-tro-thanh-diem-sang-trong-phet-trien>)

**【岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク】**

<<日本国内デスク（株式会社 I-GLOCAL 内）>>

**【所在地】** : 東京都中央区銀座1丁目18番2号 辰ビル7F

**【担当者】** : 鎌塚 麻由子（かまづかまゆこ）

<<ベトナム/ホーチミン現地デスク（I-GLOCAL ホーチミン事務所内）>>

**【所在地】** : 14th Floor, TNR Tower, 180-192 Nguyen Cong Tru Street, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam

**【担当者】** : 本庄谷 由紀（ほんじょうやゆき）

<<ベトナム/ハノイ現地デスク（I-GLOCAL ハノイ事務所内）>>

**【所在地】** : Room 1206, 12th Floor, Indochina Plaza Ha Noi Tower , 241 Xuan Thuy Street, Cau Giay District., Ha Noi, Vietnam

**【担当者】** : 逆井 将也（さかさいまさや）

<<カンボジア現地デスク（I-GLOCAL カンボジア事務所内）>>

**【所在地】** : 13th Floor, Phnom Penh Tower, #445, Monivong Blve (St.93/232), Sangkat Boeung Pralit, Khan 7 Makara, Phnom Penh, Cambodia

**【担当者】** : Mak Brathna (マク・ブラタナ)

※ デスクのご利用にあたっては、「岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧ください。まずは岡山県産業企画課マーケティング推進室(086-226-7365)までご相談ください。